

私たちが願う生徒の姿

- ① 教科の学習を通してどのような生徒の成長を期待していますか。
- ② そのために、具体的に授業で心がけていることを教えてください。

英語科

- ① 英語を使ってコミュニケーションしたい！と思う生徒を増やしたいです。
- ② 目的・場面を明確にした言語活動が授業の中心となるように、授業の構成をしています。

国語科

- ① 自分の考えをもち、伝え合うことができる生徒。
- ② 自分の考えを書いたり、話したりして伝え合うコミュニケーション活動を大切にしています。また、その基盤を成す言語育成も重視しています。

社会科

- ① 日々の生活の中で起こる様々な事柄を多面的・多角的に見て、その解決方法を主体的に考えることができるようになってほしいです。
- ② 授業で扱う様々な課題の解決方法を自分で考え、他の人と意見を共有することで様々な考えがあることを知ってほしいと思っています。

英語科

- ① 英語を学習することで、日本と異なる外国の文化に触れ、多様性に気付き様々な見方や考え方のできるようになってくれることを期待しています。
- ② 単元の題材について英語で表現する機会を多くもてる授業を心がけています。

音楽科

- ① 自ら問題を発見し、解決していく力をつけさせる。
- ② 授業でのプリントの見直しをして、より丁寧に教えることを心掛けています。

理科

- ① 身近な理科の現象に意識を向け、疑問を見つけることができる。
- ② 様々な科学的現象を例に挙げ、自分の考えを表現できるような教材づくりを行っています。

数学科

- ① 物事を全体的にとらえて、本質は何かを見抜けるような、数学的な考え方ができるようになること。
- ② 基本的な事柄をどこでどういう風に使えば問題が解決できるのかを考えられるようにしています。

技術科

- ① 様々な制約や条件のある中で、最も良い問題解決、技術の最適化(トレードオフ)ができるようになって欲しい。
- ② 社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性等の技術の見方・考え方を働かせることが出来るような授業展開を心がけています。

日本語学級

- ① 「わかった」喜びを多く経験することで、様々なことに興味関心をもち、自ら学び考える意欲と力を高めてほしい。
- ② スモールステップで授業計画を立て、なるべく平易な言葉で説明すること。課題解決のための方法を指導したり一緒に考えたりして、まずは自分でチャレンジさせること。出来たらたくさん褒めることです。

保健体育科

- ① 各種目の基本的な知識と技能を身に付け、自他の観察によって課題の発見と解決策を考え他者に伝えることなどを自主的・積極的に助け合い教え合って学習に参加できる生徒。
- ② 各種目に対応した学習ノートを作成して毎時間で活用したり、遅延装置による技能の動作確認ができるようにしたり、グループで教え合える場面を増やしたりしています。

家庭科

- ① 家庭科の授業を通して、日常生活が様々な活動の土台になっていることに気づき、自分の生活を更に良くしていきたいという気持ちをもてる人に成長してほしいと思っています。
- ② 実習や課題では、見本の写真や動画、説明書は準備しますが、「次は何をしたら良いのですか？」という質問にはほとんど答えません。失敗しても良いので、自分で考えて進めることで「自分で出来ること」を1つでも多く増やしてほしいからです。また、各分野の初めと終わりには、学んだことを自分の生活にどうやって生かしていくかを考えてもらうことを心がけています。

国語科

- ① 日本語を正しく使うことができ、言葉を大切にし、情報を主体的に使いこなせるようになってほしい。
- ② 文章を正確に読み、他者の話を正確に聞き取り、自分の考えや気持ちを正確に伝えようとする、そのために必要な様々な技術を身に付けられるように授業をしています。

日本語学級

- ① 日本語を学ぶことによって、将来に希望をもてる生徒。
- ② 授業の中で、職業に興味をもたせる機会を作っています。希望する方向性が芽生えてきたら、進路について話をしてみます。そのために今何が出来るのかを考えさせる時間をもつようにしています。



国語科

- ① 自分の考えをもつ力、自分を表現する力、継続して努力する力を身に付けることです。
- ② 進んで発表できるような雰囲気づくりを心がけ、考えるきっかけを与える教材、継続して努力した結果が見える小テストなどを取り入れています。

英語科

- ① 学習したことを線でつないでいき、やがて自分でその線を延長したり、他の点と結びつけていける姿。
- ② インプットしたことを、小出しにアウトプット活動を行い、大きな単元のゴールへとつなげています。授業の振り返りシートを活用して、生徒の主体的な学習を促したり、活動状況にコメントをする。即興によるやりとり等を通じて思考力、判断力を伸ばしているしかけを用意しています。

社会科

- ① 将来、社会に出た時に自分自身で判断し行動できる人になって欲しいと願っています。
- ② 単なる知識の暗記ではなく、知識を活用して歴史や地理、現代社会の諸課題に対する解決策を考察したり、他の生徒と意見を共有することに重点を置いた学習活動を行っています。

数学科

- ① 直面する問題をどのように解決したらよいかを考えることができる人間になって欲しい。
- ② 問題を解く演習を繰り返すことで、解決方法を探す訓練をしています。

数学科

- ① いろいろなものごとを数学的に考えることができる生徒。
- ② いかに早く、そして正確に問題を解くにはどうしたら良いかを考えさせ、他の人の解き方を見せるように心がけています。

英語科

- ① 英語学習を通して学んだことを用い、自分の考えを表現(話したり、書いたり)することができる生徒。
- ② 自分の考えを、習ったことを用いて表現する時間を設けています。

理科

- ① 自然現象に興味をもち、自ら主体的に疑問を見出すことができるようになってほしい。
- ② 学習の課題に見方・考え方を働かせることができるような教材を作成し、学習スキルを身に付けさせるように心がけています。

福二教室(特別支援教室)

- ① 生徒一人一人の課題に合った必要なスキルが身につくことを期待しています。
- ② 生徒一人一人の課題を見取るために生徒の実態を、把握することを心がけています。また保護者面談や本人の気持ちの聞き取りから、中学生の段階でどのような力、スキルを身につけなくてはならないのか等長期的・短期的にそれぞれ目標を設定します。それらの目標を達成するための授業を考え、実践しています。

社会科

- ① 知識を増やし、幅広い角度から考えたり意見をもてたりすること。
- ② まずは基礎的な知識の習得の充実。その知識を活用して、地図やグラフの読み取りや、考えさせたりする機会を設けています。

保健体育科

- ① 仲間と協力し、助け合いながら、生涯を通してスポーツに親しむことができることです。
- ② 授業内で、チームごとに話し合い活動の場を設け、課題とそれに対する改善点を考えながら、授業に取り組むことです。

福二教室(特別支援教室)

- ① 教科学習を通して社会性やコミュニケーションのスキル、生活に必要なスキル等の生きる力が身につくことを期待しています。
- ② 生徒の特性にもよりますが、簡潔でありながら、具体的にイメージしやすいように話すことと、生徒が自ら考えられるように発問等を工夫することです。

美術科

- ① 美術の表現や鑑賞の授業を通して豊かな心、感性を育てたいです。
- ② 様々な表現方法に取り組みせたり、鑑賞する活動を通して見方・感じ方を広げられるようにしています。

理科

- ① 身の周りのことについて、科学的な思考で考えられる生徒。
- ② 友達との意見交換の場をつくり、自分の考えを見つめ直すことができるように工夫しています。

